



インタビュースキル研修

～内部統制・監査充実のためのコミュニケーション～
【企画】

人と組織の**価値創造**のために

 **ヒューマンマネージコンサルティング**
HumanMANAGEconsulting

MAximize・**NA**avigate・**GE**nerateを徹底サポート

代表 人材総合コンサルタント・研修トレーナー

眞下 仁 (Hitoshi Mashimo)

mashimo@hm-consul.co.jp

www.hm-consul.co.jp

ご提案の趣旨・目的等

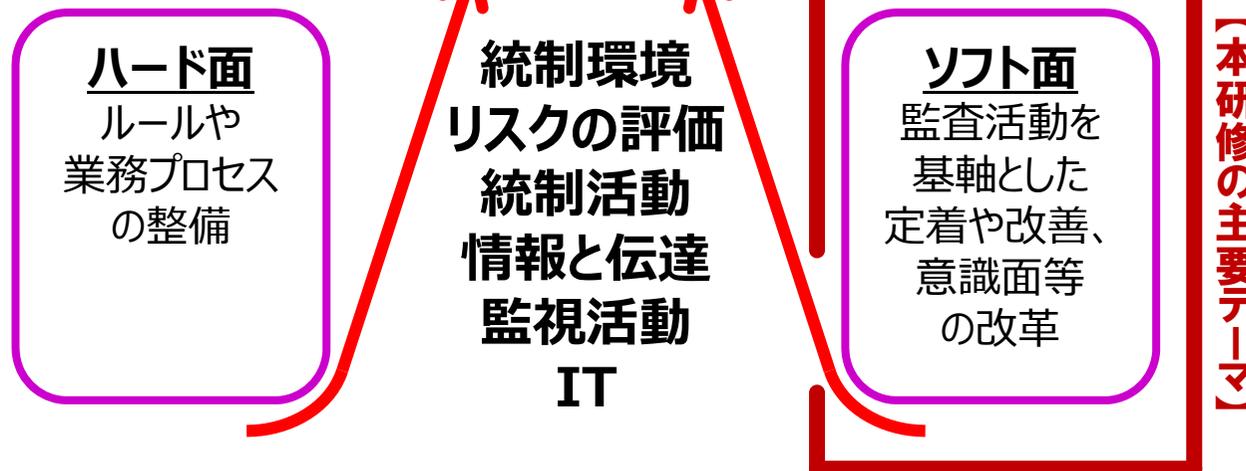
■ 主要趣旨及びテーマ

内部統制の運用強化 「ハード面」と「ソフト面」、両面の充実への取り組み

<内部統制の目的>

- ・業務の有効性・効率性
- ・財務報告の信頼性
- ・法令順守
- ・資産の保全

<要素と目的へのアプローチ>



※本ご提案に示す内部統制とは、旧来の財務上の監査のみでなく、左記の目的に通じる企業全般の活動を意味しております。

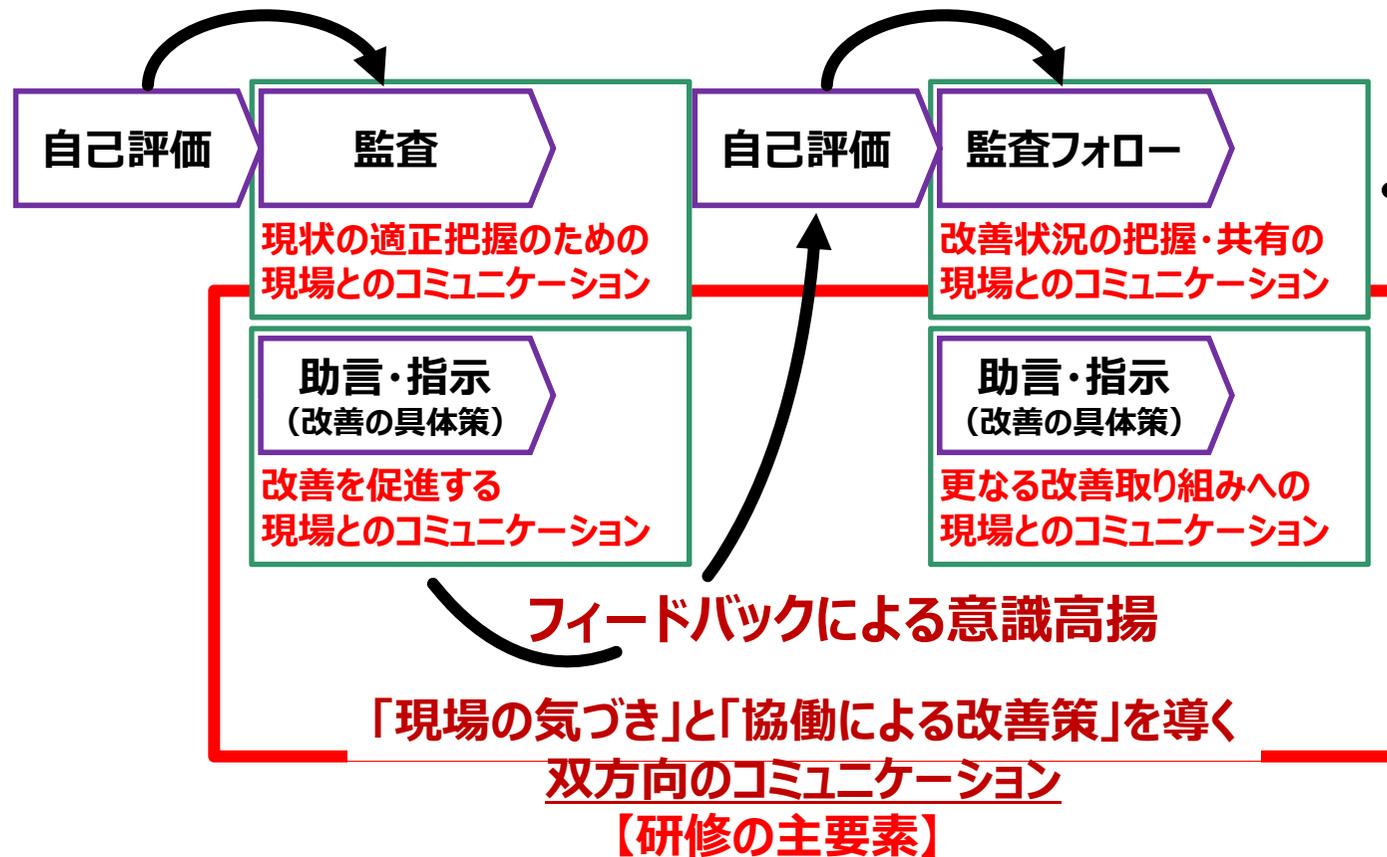
- 内部統制の目的に向かうために要する「ハード面」と「ソフト面」の充実のうち、「ソフト面」に焦点を置き、提案を申し上げます。

※内部統制の概念は、トレッドウェイ委員会支援組織委員会(COSO: コーソー: The Committee of Sponsoring Organizations of the Treadway Commission)の見解を主に参考にいたしております。

ご提案の趣旨・目的等

■ ソフト面充実への要素

自己評価、監査、指示・助言、監査フォロー・・・における
双方向コミュニケーションで現場の自律した内部統制活動を促進



- 自己評価等のフローを活用し、インタビューでは、監査人の双方向のコミュニケーションスキルにより「ソフト面」の充実を図ります。

現場の自律した改善へのPDCA

- また、その成果は、現場の自律した内部統制・改善へのPDCAへ還元することをねらいます。

ご提案の趣旨・目的等

■ 研修の目的

- 内部統制で監査人が果たすべき役割を再認識する。
- 現場とのインタビューを通じて現状の適確な把握・共有ができるようになる。
- 現場が内部統制を自律して促進することに通じる「双方向のコミュニケーションスキル」を身に付ける。
 - 有効なインタビューの準備・実行の方法を理解する。
 - 「気づき」や「協働した策」の構築によって現場のコミットを導くコミュニケーションを実践できるようになる。
 - 質問の選択やペースのコントロール、混乱時の対応等の具体的なノウハウを理解し、実践できるようになる。
 - ビデオ撮影で自らを客観視し、今後の改善への道筋を作る。

カリキュラムご提案(現在案)【1日版】

※日数、時間、カリキュラムの内容は、御社とのお打ち合わせにより最終決定いたします。

時間	トピック	時間	トピック
A M	<ul style="list-style-type: none"> ●はじめに オリエンテーション ●オープニング・ディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・「監査におけるインタビュアーの役割と留意すべき事柄」 ・「インタビューアイテムの抽出」 (御社ご意向によりテーマにいたします) 	P M	<p>【インタビューによる内部統制の促進方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部統制状況を把握する質問(つづき) <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査結果を知らせる、ギャップの原因を探る ●監査結果(未達成事項)の原因・対策を「協働して」考える方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因と対策の拡散・収束のコミュニケーション ・ 意図からの乖離、混乱時の対応方法 ・ リフリーズとコミットメントの確認
	<p>【内部統制インタビューのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インタビュアーの役割と求める効果 ●インタビューの位置付けと目的の明確化 ●インタビューの基本的な構成 ●インタビューの場の設定方法 ●インタビューアジェンダの作成方法 <p>【インタビューの基本スキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インタビュー実践のポイント ●積極的傾聴実践のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 質問スキル ・ ペースコントロール ・ バーバル、ノンバーバルスキル 等 <p>〔ロールプレイ〕積極的傾聴の実践</p> <p>【インタビューによる内部統制の促進方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部統制状況を把握する質問 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の自己評価を聴く ・ 現場の取り組みを聴く(午後に継続) 		<p>【演習・ロールプレイ】</p> <p>〔演習〕アジェンダ作成演習</p> <p>〔ロールプレイ〕※ビデオ撮影</p> <p>※ケースにより監査結果の未達成状況などを設定し、ロールプレイ</p> <p>※ビデオ撮影</p>

講師紹介

ヒューマンマネージコンサルティング(株) 代表取締役 人材総合コンサルタント 研修トレーナー 眞下 仁(ましもひとし)



都市銀行系クレジットカード会社で法務、財務部門勤務の後、外資系コンサルティングファーム、公認会計士系コンサルティングファームで組織・人事系コンサルティング及び各種研修トレーナーを行う。現在は、組織・人事コンサルタント、マネジメント、思考スキル、コミュニケーション等の研修トレーナーとして活動。

活動分野

<能力開発系コンサルティング、トレーナー実績>

問題解決、ファシリテーション、インタビュースキル、プレゼンテーション、営業力、交渉力等コミュニケーション・思考スキル研修トレーナー
リーダーシップ開発・マネジメント研修、考課者トレーニング等 各種階層別研修トレーナー
他、各企業様への能力開発体系の策定、Eラーニング導入コンサルティング・コンテンツ開発等

<ビジネス系コンサルティング実績>

経営・事業・マーケティング等戦略立案コンサルティング、ビジネスプロセス改善コンサルティング、営業力・販売力、顧客満足向上コンサルティング、組織設計・人事制度構築コンサルティング、コンピテンシーの作成、業績管理手法導入コンサルティング、ITシステム改善コンサルティング 等

研修の特徴

学習上の理解のしやすさはもとより、討議や演習を通じた、「気づき」と「実践への即効性」にも重点を置き、レクチャーに併せて、演習、フィードバック、交流促進により学習効果を高める手法を展開する。
また、問題解決、戦略思考等研修では、コンサルティングの経験を活用し、各企業様の戦略やビジネス課題と直結した研修を行い、演習ケースの多くは、講師がコンサルティングの事例をもとに開発されたものを活用する。

主な実績企業様

(ワークショップ・ファシリテーション実績含む)

- 日本能率協会公開セミナー
 - 日立技術研修所様（日立グループ全般研修機関）
 - 第一生命保険様
 - 住友スリーエム様
 - 新日鉱ホールディングス様
 - 味の素様
 - ファミリーマート様
 - 日本IBM様
 - 東京スター銀行様
 - 経済産業省様
- 等 他多数